

議会だより発行**30**周年(昭和59年4月23日創刊)

議会だより

しらたか

2014年4月22日発行
(平成26年)

Vol.122

山形県白鷹町議会

3月定例会



新しい中学校誕生に向けて東西中の生徒会交流会
(生徒会リーダーが集まって生徒会組織について意見交換)

一般会計予算 **76億1000万円可決** ④p

- ・平成26年度予算審査・質疑 ⑥～⑩p
- ・町への質問・提言(3議員が一般質問) ⑪～⑬p
- ・パレス松風法面崩壊災害復旧工事請負契約の締結 ⑮p

災害に強い次代につなぐまちづくりを推進



未来にはばたく子ども達（よつば保育園）

● 定例会は、3月4日から13日までの10日間の会期で開催されました。

● 本会議に提出された主な議案は

▽平成26年度一般会計予算76億1000万円

（特別会計などあわせた総額136億9305万円）

▽地域の元気臨時交付金基金条例の設定など条例28件

▽平成25年度補正予算

など審議の結果、原案のとおり可決しました。

● 一般質問は、3名の議員が公共施設の跡地利用や観光振興そして農業、農村政策などの課題に論戦を展開しました。

● 任期満了に伴う副町長に、前総務課長の横澤 浩氏を選任する人事案件は、無記名投票の結果、賛成7反対6の賛成多数で同意されました。

一般会計

財政調整基金
町立病院などに

2億1630万円を追加補正

総額88億1783万円となる



新しくなった諏訪堰頭首工

質

疑

議員
農業用河川工作物
応急対策事業の内容
を問う。

当局
諏訪堰頭首工下流
部の川床がえぐられ
たための県の工事である。

議員
地区公民館耐震化
事業が減額されてい
るが、各地区公民館の耐震性
は大丈夫か。

当局
公民館の耐震診断
の後、必要な工事を
行っており、すべての地区公
民館の耐震性は大丈夫である。

補正の主なもの

- 一般会計補正予算の主なものは
- 財源は、国・県支出金などで対応します
- ・ 財政調整基金積立 1億2067万円
 - ・ 病院経営基盤強化費 6000万円
 - ・ 萩野地区農地環境整備事業 875万円
 - ・ 農業用河川工作物応急対策事業 1019万円
 - ・ 農地豪雨災害復旧事業費 3493万円
 - ・ 林業豪雨災害復旧事業費 4817万円
 - ・ 町誕生60周年記念事業開催準備委託料 340万円
 - ・ 地区公民館耐震化事業 ▲3566万円
 - ・ などです。

平成25年度補正予算総括表

会計項目		補正額	補正後の額
一般会計		2億1630万円	88億1783万円
特別会計	下水道	△3952万円	6億6752万円
	国民健康保険	443万円	16億6059万円
	農業集落排水	△398万円	1億4377万円
	介護保険	△989万円	15億3695万円
	後期高齢者医療	35万円	1億3562万円
企業会計	病院	収益的支出	1400万円
		資本的支出	△310万円
	訪問看護ステーション	収益的支出	100万円

※万円未満は端数を整理しています。

■繰越明許費（25年度予算で計上され、26年度で事業を実地するため繰り越すもの）

- ・ 畜産生産拡大支援事業 3831万円

・ 農業基盤整備促進事業 3180万円

・ 森林環境保全整備事業 665万円

・ 十王新屋敷線道路改良事業 1350万円

・ 農地豪雨災害復旧事業 1億1350万円
- ・ 林業豪雨災害復旧事業 2億221万円

・ 道路河川豪雨災害復旧事業 1億7216万円

・ 観光施設豪雨災害復旧事業 6867万円

・ 障害福祉システム改修費 45万円

前期計画の検証と後期計画の準備へ

予算総額 136億9305万円 (対前年比4.7%の増)

**平成
26年度**

一般会計予算76億1000万円

(対前年当初比5.8%の増)

全会一致で可決

3月10日、11日の両日にわたり全10会計を予算特別委員会（議長を除く13人、遠藤幸一委員長）で審査しました。



貝生地区の災害復旧現場

討論

一般会計予算に対する賛成討論 奥山 勝吉 議員

平成26年度の一般会計予算は前年度に比べ4億1400万円の増となっており、歳入では、町税が前年度比1.6%増ですが、地方交付税等が減額となり、一般財源としては2.3%減となっています。町税等のコンビニや郵便局収納実施にむけた準備事業は高く評価しますが、厳しい財政運営が予想されたなかで限られた財源を有効に活用する観点から、第4次行財政改革大綱の取組み推進体制の強化を求めるものであります。歳出については、扶助費が4.1%増となっております、笑顔がやき、心かよう、という主要施策のフレームを実現するための予算であると理解します。

6次産業化支援事業などの前年度並みの予算確保を評価するとともに、費用対効果を常に意識した予算執行にあたっていただきたいと希望します。保健・医療・福祉の分野では、防犯灯のLED化に対して予算化されたことを評価するとともに、消費税引上げに対する臨時福祉給付金給付事業及び子育て世帯臨時特例給付事業については、周知や支給漏れ等に留意すべきと考えます。また、高齢者世帯等の除雪・雪下ろし支援の大幅な予算化についても高く評価します。限られた予算を有効に活かすインセンティブ制度の導入も検討しながら、次世代へつなぐまちづくりと共に、将来のコストと平等・公正なサービスの充実を見据え、町民が安心して暮らせるよう、行政課題の解決に向けた予算の執行を強く要望いたします。平成26年度一般会計予算についての賛成討論といたします。

主要事業を見ますと、子育て教育部門における新規事業の民間保育所支援事業は、保育の質の向上や特徴ある保育という観点において非常に重要な施策です。雇用・産業分野においては若者の働く場の確保という観点から、中小企業技術者養成事業

※一般会計予算に対する反対討論はありませんでした。



佐藤誠七 町長

平成26年度 施政方針 (要旨抜粋)

次のステージにつなげていく一歩ずつ

昨年7月の豪雨災害は、予想を超える被害の大きさでありましたが、私たちの美しいふるさとと安定した生活を一刻も早く取り戻し、次代へとつないでいかなければなりません。被害箇所の復旧に向け、国・県を初め多くの皆様のお借りし、町民の皆様の安全で安心な暮らしの確保に向け努力してまいります。町政を担わせていただき6年目実質2期目の折り返しを迎えますが、「笑顔かがやき 心かよう 美しいまち」を目指し、町民の皆様と視線を同じくして共創のまちづくりを進めていきます。今年白鷹町が誕生して60周年にあたり、これまで先人が培ってきた伝統文化と恵まれた自然環境を誇りに、町民の皆様とともに記念すべき年を祝い、次のステージにつなげていく一歩として様々な事業に取り組んでいきます。

「第5次総合計画」の

平成26年度各会計当初予算額			
会 計 名			予算額
一 般 会 計			76億1000万円
特別会計	十 王 財 産 区		55万円
	下 水 道		8億1034万円
	国 民 健 康 保 険		16億931万円
	農 業 集 落 排 水		1億5425万円
	介 護 保 険		15億9240万円
	後 期 高 齢 者 医 療		1億3825万円
企業会計	水 道	収益的支出	3億1158万円
		資本的支出	1億2552万円
	病 院	収益的支出	12億213万円
		資本的支出	9947万円
	訪 問 看 護 ステーション	収益的支出	3925万円
合 計			136億9305万円

※万円未満は端数を整理しています。

総括質疑

菅原 隆男 議員

菅原

予算の編成における消費税率引き上げの影響をどう捉えているか。

町長

指定管理料での燃料費や電気料金、物件費等維持補修費や投資的経費などで7000万円程の影響と見ており、歳入では、地方消費税交付金等の増税分、使用料・利用料等の増加分、普通交付税の需要増加分などを見込み、予算における影響は歳入歳出で同額程度と見ている。

菅原

行財政改革推進の中で、直面する課題に対して積極的に対応するための組織づくり、人づくりを進めていくとあるが、どのような組織体制を考えているのか。

町長

学校教育部門の体制強化、産業振興課に農林担当主幹の配置、総務課企画室にまちづくり推進係を設置するなど、限られた職員体制の中で可能な限り業務の重点化、効率化をはかっていく。

関 千鶴子 議員

関

自主財源の伸びは期待できず構造的に硬直化する財政状況のなかで、町の施設整備をどのように進めていくのか。

町長

計画段階から住民の方々と議会に内容を示して、意見や議論をいただきながら進めていくとともに、国・県費を初めとした有利な財源を模索しながら、将来の財政見通しを十分に踏まえ、計画的に進めていく。

関

次世代を担う子供の数を減らさないための施策展開、保育の量の見込みや子育て支援施策の展開をはかっていくとあるが、柱となる考え方や見通しは。

町長

人口減少を認識せざるを得ないが、減少をできるだけ緩やかにしていく考え方の中で、保護者の方々の声を伺いながら、その声を反映した計画づくりをしていく。



四季の郷交流広場

歳入

（町の収入）

質疑

都市計画税率の見直しは

議員

都市計画税について、都市計画事業に見合った課税税率の採用をすることを考えるか。

当局

道路、公園、下水道事業などの都市計画事業や土地区画整理事業などの経費に充当しているが、これらの事業費に対しては大きな金額ではないことから、

現在のところ税率を変更する考え方は持っていない。

議員

今後の都市計画事業の在り方と税に対する考えは。

当局

財源として大きなウェイトを占めており、固定資産税との整合性を取りながら、今後の事業の状況や推移を確認しながら取り組んでいく。

町独自の収入源確保が必要では

議員

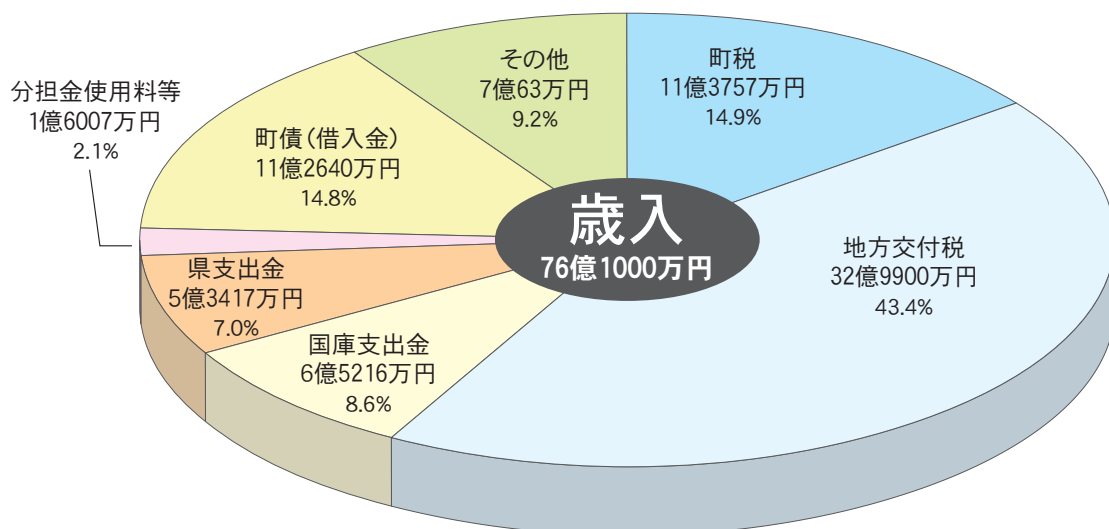
地方の財政状況が厳しい中で、今後の財政運営と、ふるさと寄付金などの町独自の収入源確保に対する考え方は。

当局

交付税収入は人口減少により増加は見

込めないために、ふるさと納税制度のように町の努力でできる収入を大事にして予算編成している。消費税率の改正による影響を注視しながら、今後の交付税制度や法人税の見直しなども踏まえ、安定した財政基盤づくりに努めたい。

平成26年度一般会計収入予算



※万円未満は端数を整理しています。



紅花まつり

質疑

歳出

（町の支出）

総務費

コミュニティセンター
化への支援は

議員 コミュニティセン
ター構想推進事業に
よる支援内容を問う。

当局 体制整備として地
区計画を策定する地
区経営主体に20万円を上限と
して助成する。また、地区を
担当する職員を配置して支援
を行っていく。さらに環境整
備として、現在地区公民館で
使用しているパソコン等の入
れかえを予定している。

町制施行60周年の
取り組みは

議員 町制施行60周年を
迎える取り組みを
問う。

当局 記念式典及び記念
講演、「あゆーむ」で
の特別展の開催、若鮎マラソ
ン・紅花まつり等とのタイ
アップを考えている。また「白
鷹町史・現代編」の刊行を予
定している。

LED化する防犯灯の
数と効果は

議員 防犯灯のLED化
については何基分を
予定しているのか。また、そ
の省エネ効果は。

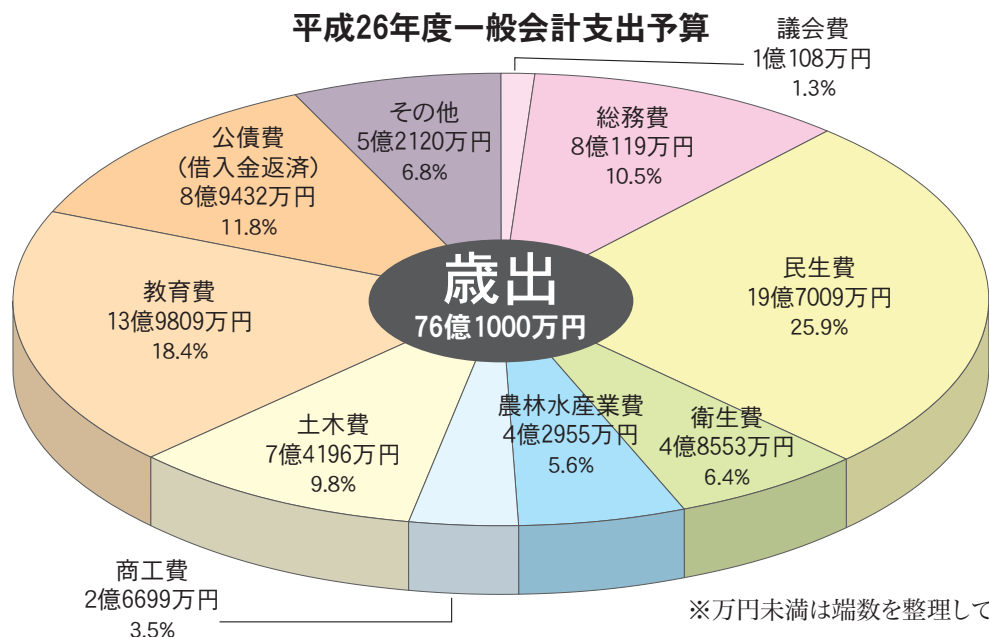
当局 おおむね100基
を想定している。現
在の防犯灯に比べ1基あたり
月50円程度は電気料金が安く
なると思われる。

検診結果の扱いは

議員 健康診断や人間
ドックで、要治療や
要精密検査の結果を受けた人
に対する再検査のアプローチ
はどうしているのか。

当局 特にがん検診につ
いては今後の健康管
理に大変重要であり、訪問に
より検診結果を説明して受診
勧奨をしている。それでも受
診されない方は年度末に電話
や文書等で再度受診勧奨を
行っている。

平成26年度一般会計支出予算



※万円未満は端数を整理しています。

質疑

歳出

（町の支出）

農林水産業費

地産地消促進に「つや姫」を

議員

学校給食に白鷹産のつや姫を提供できないか。

当局

文部科学省の米飯給食の基準は政府米で2等米となっているが、町内産はえぬき1等米を子ども達に提供している。今後、町

内産つや姫の提供も検討したい。

6次産業化支援は

議員

6次産業化支援の新たな事業を考えているのか。

当局

紅花に継続して取り組みとともに、新たに枝豆、大豆等に取り組んでいきたいと考えている。新

商品開発、調査業務にプラスして販路拡大・開拓についても新たに補助事業の対象にしていきたいと考えている。より活用いた

ただようPR・啓蒙に努めながら取り組んでいきたい。



紅花摘み

紅花の里づくりの取組みは

議員

本年度の紅花の里づくり推進事業の内容を問う。

当局

国道沿いや主な幹線道路沿いのまとものある団地に耕作した場合、10アール当り10万円の助成金を支給し、景勝用の紅花を作付いただくというのが主な趣旨である。

観光交流大使事業の取組みは

議員

観光交流大使事業の経緯等を問う。

当局

観光物産に特化した観光交流大使を制度化して、本町の観光PRや物産振興に適した本町にゆかりのある方、マスコミ露出度の高い方などを5人以内で任命したいと考えている。

DESTINEーションキャンペーンと深山地区の連携は

議員

DESTINEーションキャンペーンと深山地区をどのように連携させていくのか問う。

当局

JR東日本の企画商品として、のどか村まつりに合せて歩くツアーや、再建された登窯を利用した体験メニューなど一目でわかるパンフレットの作成を計画している。



のどか村まつり

商工費



潤ってしまった消雪用井戸（浅立）

主 木 費

当局 基本的に機械除雪に移行していきたいという姿勢は変わっていないが、浅立地区については家屋が連なっており、機械除雪をした場合、路肩付近、歩道に雪が山積みになってしまう。安心・安全な道路を確保するためには、どうしても消雪道路が必要であるという結論を出したところである。

議員 消雪道路を機械除雪と並行して行っていく方針は変わったのか。

基本は機械による除雪か

当局 住宅総合計画は、社会情勢の変化に対応するために、新たな総合的な住宅政策にかかわる計画を策定するものである。審議会を立ち上げ内容を検討し、各

住宅総合計画策定はどう進めるか

種データ等の分析、集計等をコンサルタント業者に委託してまとめ上げるものである。総合的な住宅政策の方向づけを行う計画として考えている

質 疑

消 防 費

災害時の食料備蓄は

議員 緊急災害時食料等備蓄事業による食料

備蓄は何日分か。

当局 予算の範囲内であるが、一日くらいは対応できるよう、乾パンやア

ルフア米などを各地区公民館に備蓄する考えである。

消防団員の本部付団員体制は

議員 本部付団員体制が変わるとのことだがその経過と状況について問う

当局 災害が来た場合の対応を重視する考えのもとに、26年度より各分団より本部員を出していただく体制をつくるべく、現在動いている状況である。



AED講習のようす

特別会計 企業会計

質 疑

歳 出

（町の支出）

介護保険特別会計



緊急医療情報
キット見本

当局 ペットボトル大の専用容器に氏名、年齢、連絡先、常備薬など必要な情報を記入して自宅に保管し、万一の際に救命活動につながるもの。

議員 単身高齢者の安心・安全のための緊急医療情報キットとはどのようなものか。

緊急医療情報キットとは

訪問看護ステーション事業会計

当局 訪問看護ステーションの役割は大きく認識している。人口減少等により大幅な利用増加はむしろかしいと考えるが、平成26年度から訪問リハビリを実施していきたいと考えている。

議員 訪問看護ステーションの利用者は増えているようだが、今後どのような方向づけを考えているのか。

訪問看護の取り組み
状況は



学校給食共同調理場

教 育 費

白鷹町史編さん後の扱いは

議員 8月にできあがる予定とのことだが、販売はどのように行うのか。

当局 白鷹町史は2500部作成の予定で、一冊3000円で販売したいと考えている。町内回覧などで予約をいただくことを考えている。

学校生活支援員の増員は

議員 基本的な考え方に増員とあるが、平成26年度は何名増員されるのか。

当局 現在は10人で、7人が一日7時間勤務、3人が4時間勤務となっている。平成26年度は全員7時間勤務とし、1人増の11人で予算計上している。

武道館整備事業の今後は

議員 敷地造成工事が予算計上されているが、今後の考え方を問う。

当局 平成26年度は造成設計に取り組み、平成26年10月位から敷地造成に入りたい。武道館本体の建設は27年度になると考えている。

共同調理場施設整備に対する考えは

議員 平成28年4月に民営化が決定しているが、老朽化している施設の来年度以降の整備計画は。

当局 保健所の監査の結果、改善を要する箇所があり、26年度と27年度に分けて実施していく。

こころが聞きたい

公共施設の跡地利用は

町長 活用の可能性を多岐にわたり検討



樋口与一朗議員

西中学校の跡地、校舎の再利用は

樋口 西中学校の跡地及び廃校となる校舎の再利用について、どう考えているか。

町長 公共施設としての利用や工業用地等に活用するなど多岐にわたり検討していく。

樋口 防災センター機能を持った施設にできないか

樋口 昨年7月の豪雨災害の経験から、災害

時のリスク分散の観点に立ち防災センター機能を持った施設として、高台に立地する西中学校を再利用できないか。

町長 現在進めているコミュニティセンターを有事の際に地区防災センターの機能を持つ施設にした

樋口 防災グッズ、食料品、飲料水等の備蓄を西中学校校舎の一部を使って行う考えはないか。

総務課長 各地区公民館を地区の拠点としてネットワーク化を進めていく考えのなかで、各地公民館に備蓄予算を計上している。

樋口 改修は必要になると思うが、スポーツ公園に近い西中学校を低料金で合宿等に利用できる宿泊・

町長 有効利用をはかるために一番ベターなものは何かを検討しながら、方向性を示していきたい。

解体の場合の財源措置は

樋口 今通常国会で地方財政法を改正し、公

総務課長 具体的段階においては地方財政の財源措置も取り入れながら、より負担がなく、地域の方々の理解を得るような対応をしていきたい。

地域住民との合意は

樋口 今まであったものがなくなるということは、地域にとって悲しいものがある。

町長 地域、町民が一体化した考えの中ですすめていくことができればいいと思うが。

町長 町の財政を念頭に置き、後輩に借金をできるだけ残さないという、まちづくりに課せられた課題をふまえながら取り組んでいきたい。



7.18豪雨災害 荒砥橋に到達不能

こまが 聞きたい

観光振興と観光資源の活用は

町長 フラワー長井線の活用展開を探る



新野いく子議員

新野 昨年のプレDC（デスティネーションキャンペーン）の成果と今年の取組みは

新野

DCは今後のまちづくりや地域振興につなげるための取組みだが、昨年のプレDCの成果と今年のDCへの取組を問う。

町長

昨年、文化交流センターあゆむで「べにばなアート展―紅花Colors―」の開催、商品開発、パレス松風での舞子演舞を見ながらの紅ランチなどにより

誘客に取り組み、観光入り込み客数は対前年比158パーセントとなった。今年は、写真家の浅井慎平氏の撮影旅行や7月12、13日の紅花まつりに特別列車の乗り入れなどが決定している。

DC後の観光振興は

新野

町の維持、活性化のためには交流人口を増やす必要があるが、来年度以降の観光振興を問う

町長

観光フォーシーズン化をベースに、観光拠点を中心としてフラワー長井線を活かしながら、観光交流推進計画を策定して、今後の観光素材の活用・展開を探る。

最上川の文化的資産活用は

新野

「最上川の文化的資産50選」として白鷹町から6ヶ所が選定された県では、最上川を見つめ直し活用しながら未来に伝える取

組みを進めているようだが、町の取組みを問う。

町長

昨年、黒滝会の皆さんと一緒に最上川の文化的資産の魅力を再発見する事を目的に最上川シンポジウムを開催した。「未来に伝える山形の宝」登録制度の指



活用が問われる文化的資産の最上川

学校で子ども達の地域の学びは

新野

白鷹町の最上川の歴史、文化等の学校での取り組みを問う。

教育長

「本町の身近な地域」という副読本を作成し、小学3、4年生でその副読本に基づいた学習を行っている。

ジオパーク構想を

新野

現在、日本各地でジオパーク構想が広まっているが、白鷹町を地質学による地域おこしにつなげるため、ジオパーク認定に対する考えを問う。

副町長

地勢的な観点での取り組みを深めながら、最上川が我々にどのような文化的また歴史的な基盤を与えてきたかということを確認することが出発点と考える。具体的には地質学者も含めた町民の方々の勉強会という形で進めていきたい。

こころが聞きたい

新たな農業・農村政策への対応は

町長 生産者の方が不安を抱き混乱を招くことのないよう、情報の収集と速やかな提供に務める



小口尚司議員

農家の所得確保に向けた対応は

小口

農家の所得確保のための白鷹町地域水田フル活用ビジョンの特徴と推進策は。

地域の特性を生かした産地化を行うため、振興作物15品目を選定して助成を行いながら、水田の畑地化整備も視野に入れ作物転換をはかつていく必要がある。食用以外の米は受け手側と安定した需給体制を確立していく。

産業振興課長

地域の特性を生かした産地化を行うため、振興作物15品目を選定して助成を行いながら、水田の畑地化整備も視野に入れ作物転換をはかつていく必要がある。食用以外の米は受け手側と安定した需給体制を確立していく。

新たな制度の有効活用と周知は

小口

※2 日本型直接支払制度を中山間地域の担い手の掘り起こしのため、有効に活用すべきだと思うが。

まずは地域において今後誰がどのように農地を維持していくかを地域内で話し合いいただくというが必要。

産業振興課長

まずは地域において今後誰がどのように農地を維持していくかを地域内で話し合いいただくというが必要。

町長

法の整備あるいは要綱の整備等を見定めたうえで対応していく。

小口

申請のための事務管理を含めた説明会の予定は。

産業振興課長

申請事務はなるべく簡易な様式を国で検討しているというところはあるが、地域での不慣れた事務作業は大変だと感じている。今後、県から具体的な情報提供を受けて説明会を開催していく。

新機構の受け皿と人員体制は

小口

※3 農地中間管理機構の業務の受け皿と人員体制は。

町、農業委員会、農協、農業再生協議会などが考えられるがそれぞれ一長一短がある。人員体制は予算の裏付けも必要になるので、今後、関連法案の施行を受けて受け皿の整備と人員体制を検討していく。

町長

町、農業委員会、農協、農業再生協議会などが考えられるがそれぞれ一長一短がある。人員体制は予算の裏付けも必要になるので、今後、関連法案の施行を受けて受け皿の整備と人員体制を検討していく。

耕作放棄地解消に向けた機械導入は

小口

耕作放棄地解消に向けて、大きな礫を砕く機械の導入を検討しては

産業振興課長

その機械を誰が購入し、メンテナン斯拉しながら、作業料金をいくらにするのかなどの詳細な確認をしたうえで支援を検討していく。



田植風景

※1 水田フル活用ビジョン／地域の作物振興の設計図となるもので、ビジョンの作成が交付金による支援の要件となる。

※2 日本型直接支払制度／農業の農産物生産以外の機能を維持するための地域活動や営農活動に対して支援する制度。

※3 農地中間管理機構／農地の貸し手と借り手の間に入り、地域の農業の担い手への農地利用の集積・集約化を進めるためのもの。

総務厚生常任委員会

3月6日に所管事務調査を行いました。説明事項と主な質疑内容は次の通りです。

コミュニティセンター移行計画(案)について

委員 地区計画は、だれが作るのかまた、どのような体制で進めるのか
当局 町として支援は行いが、あくまで地区が主体となつて作つていただくことになる。現在準備委員会が立ち上がっている地区に対しては、それぞれ職員が入って様々な話し合いを進め、ある程度の事務的な作業も担うことにしたい。

庁舎等施設整備について

委員 財源対策をどう考えているのか。
当局 タイミングを逸すること助成がなくなることを非常に心配している。木材利用についての助成も相当減額の方にある。ある程度骨子ができあがった段階で改めて提示したい。

第2次障がい者プランの策定について

委員 グループホームの整備をどう考えているのか。
当局 整備要望を踏まえ、検討組織で調整作業を行っている。
委員 周辺住民の理解をどう得ていくのか。
当局 地域の方々に丁寧に説明して理解いただき、運営に対して支援いたいただくような体制づくりを進めたい
委員 障がい者自立の観点から働く場所の確保も考えるべきでは。
当局 就労に結びつくようPRや啓発に努めたい。

その他、白鷹町協働のまちづくり条例に基づく事業の推進状況、町税等のコンビニ・郵便局収納について新型インフルエンザ等対策行動計画についての説明を受けました。

産建文教常任委員会

3月7日に所管事務調査を行いました。説明事項と主な質疑内容は次の通りです。

27年度より上下水道料金をコンビニや郵便局で納付可能に

委員 鮎貝、蚕桑地区で対象となるコンビニは。
当局 対応できるコンビニがないため、郵便局対応となる。準備期間における検討を踏まえて対応していくことになる。

その他、町内産業の状況について白鷹サテライトオフィスの状況、パークゴルフ場コース増設について説明を受けました。



コースが増設されるさと森林公園パークゴルフ場



町税などの納税が可能になる蚕桑郵便局

大規模養豚場悪臭問題特別委員会

1月16日に当局から説明がありました。新事業者により糞尿や汚泥の撤去中であり、1月中としていた豚の導入は遅れる見通しであること。畜産生産拡大支援事業（県が事業費の3分の1を助成）として、密閉型の縦型コンポスト設置、廃水処理施設改修、自動給餌機の導入、親豚400頭の導入等の事業費1億2400万円について補助申請を行うとのことでした。

1月20日には、議員全員で豚舎等施設内部を見ながら説明を受けました。また、地区と業者と町が並列で東根地区の環境を保全していく観点により、地区の同意を得て東根環境保全会議が設立されたとの報告がありました。

人事

新任の
白鷹町副町長

横澤 浩 さん（横田尻）



表彰

置賜町村議会
議長会表彰

自治功労 議員在職10年以上
守谷 丹吾 議員



鮎貝まちづくり 事業調査特別委員会

3月5日に委員会が開催され、鮎貝四季の郷地内の福祉用地（さくら保育園の隣接地）について、白鷹町土地開発公社に先行取得を依頼して確保していた5900㎡を買戻し将来の事業用地として取得する。（取得予定価格は8437万円＋手数料）なお、利活用については、世代間交流ができる施設や子育て支援となる施設を整備する事を基本として具現化に向けて取り組むとの説明がありました。



第1回全国絵画公募展（あゆ〜む）

条 例

■白鷹町地域の元氣臨時交付基金条例の制定

国から交付される地域の元氣臨時交付金の一部（1億3千万円）を基金として積み立て、26年度の投資的事業実施に資するための条例で、管理、運用、処分などを設定するもの。

■白鷹町保育所設置条例の一部改正

よつば保育園の設置及び運営について、社会福祉法人白鷹会において設置等を行うことに伴い、条例中の「白鷹町よつば保育園」を削除するもの。

■消費税率の改定に伴い、条例中の使用料、利用料金等について、関係する24条例の一部改正

すべて、全会一致で承認されました。

契 約

■7月18日豪雨災パレス松風法面崩壊災害復旧工事請負契約の締結

○工事内容…法面復旧工事437㎡、露天風呂の撤去工事など
○契約金額…6090万円

○相手方…㈱鈴木工務店 代表取締役 鈴木重治

■7月18日豪雨災パレス松風法面崩壊災害復旧工事請負契約の一部変更

○工期の延長により、契約金額を26年度に繰り越すことから、消費税率改定に対応する。

○契約金額に174万円を加え、6264万円とする。

■白鷹町統合中学校整備工事請負契約の一部変更

○教室耐震補強工事の仮間仕切壁、昇降口工事による下足仮置場等を設置する増工事。

○契約金額に793万3640円を加え、5億3297万3640円とする。

お詫び

平成26年1月22日発行のvol.121につきまして、12ページに掲載の発表会写真が、誤って「ひがしね保育園」の写真になっていました。深くお詫び申し上げます。

追跡

— あの質問のゆくえ —

史料館、資料館の設置は

- ①第5次総合計画で歴史資料館を建設するのか(22年3月議会一般質問)
- ②町の史料館についての考えは(23年3月議会総括質疑)
- ③中央公民館に史料館(展示室)は(23年6月議会一般質問)

当局答弁

- ①今ある公共施設の再配置を検討し、一時的にでも展示できる保存の在り方を検討していきます。
- ②史料館の必要性は十分認識しているが、町財政等々を含めて検討していく。
- ③リニューアル構想で計画している展示室は、季節別の風俗や習慣、時代別の生活の様子などを展示して学習できる場として考えている。

どうなっている



史料保管の続く旧中山小体育館

第5次総合計画では歴史、民俗資料を調査整理し、既存施設利用も含め、歴史民俗資料館の整備について検討するとしています。鮎貝の史料保管センター及び旧鷹山小学校に保管していた史料は、旧中山小学校体育館に保管しており、他の空き公共施設を利用して保管するべく検討しています。展示場所として予定していた中央公民館は、防災センターとして整備することから、展示する施設については、町財政等々と調整をはかりながら検討していきます。

お手持ちのパソコンで議会中継をご覧いただけます。録画でもご覧いただけます。

議会だよりのご意見・ご感想などを議会事務局までお寄せください。

町民の声



議会の傍聴には、何となく足が重く行く機会がありません。代わりに、インターネットで議会中継を見ることができています。

小さな地方自治体が単独でそのシステムをもっていることが素晴らしい。ただ、国会中継を見慣れているせいか、当町議会は質問、答弁とも長く迫力がイマイチ。持ち時間の中で、一問一答を増やすなど、「視聴者」も意識し工夫したらいいか。

(荒砥 60代 男性)



春の訪れ

広報委員

委員長	佐藤 京一
副委員長・編集長	山田 仁
委員	小口 尚司
委員	新野 いく子
委員	奥山 勝吉
印刷	長谷川印刷

1984年(昭和59年)4月23日、しらたか町「議会だより」が創刊され、今年で30周年の記念すべき節目の年となります。

創刊号の中に、この議会だよりが「現在と将来にわたる町の重要な政策を議決する、議会の全ぼうと議員の政治活動を、議会だよりを以て広報し、議会と住民の情報媒体として長く継続させ」とあり、当時の議会広報紙発刊に対する強い想いを感じることができました。今でもその想いは変わらず、自らに問いかけながら編集に臨みたいと思います。

《小口》

編集後記

